

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実  
 施策 高齢者福祉の充実  
 基本事業 地域交流と社会参加の促進

事業名 **シルバーウィーク開催経費**

[0215]

|    |       |        |      |          |      |
|----|-------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 健康福祉部 | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象  |
| 課名 | 介護保険課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分     | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 |  |
|------------|--|
| 対象         | (誰、何に対して事業を行うのか)<br>市内在住の高齢者   |
| 意図         | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)<br>各事業に参加してもらうことにより、社会参加をうながし、生きがいづくりとしてもらう                     |
|            | (事務事業の内容、やり方、手段)<br>高齢者クラブ連合会、社会福祉協議会と共催により、老人週間にあわせ市民会館等において、演芸発表会、健康コンクール表彰式、男性料理教室などを行う |
|            | 手段   |

| 事業量・コスト指標の推移          |              |    |        |        |        |        |
|-----------------------|--------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分                    |              | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度当初 |
| 対象指標1                 | 65歳以上の高齢者数   | 人  | 26,383 | 27,078 | 27,827 | 27,827 |
| 対象指標2                 |              |    |        |        |        |        |
| 活動指標1                 | 実施事業数        | 事業 | 7      | 8      | 8      | 8      |
| 活動指標2                 |              |    |        |        |        |        |
| 成果指標1                 | シルバーウィーク参加者数 | 人  | 1,300  | 1,300  | 1,300  | 1,000  |
| 成果指標2                 |              |    |        |        |        |        |
| 単位コスト指標               |              |    |        |        |        |        |
| 事業費計 (A)              |              | 千円 | 284    | 563    | 487    | 682    |
| 正職員人件費 (B)            |              | 千円 | 415    | 403    | 401    | 647    |
|                       |              |    |        |        |        |        |
| <b>総事業費 (A) + (B)</b> |              | 千円 | 699    | 966    | 888    | 1,329  |

| 費用内訳 |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 23年度 | 報償費 245千円、需用費 20千円、使用料及び賃借料 222千円 |

## 事業を取り巻く環境変化

|        |  |             |                              |
|--------|--|-------------|------------------------------|
| 事業開始背景 |  | 事業を取り巻く環境変化 | 高齢化の進展とともに、高齢者の生きがいの場が必要である。 |
|--------|--|-------------|------------------------------|

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由・  
根拠は？

永年にわたり地域社会の発展のために尽くされた高齢者の長寿を祝い、広く敬愛の思想を普及するとともに、老後の生きがいと健康を高める機会とし、市民一人ひとりが老後を自らの問題として認識し理解を深め、それぞれの地域において世代間の交流・連帯を強め、誰もが安心して暮らせる明るく活力ある社会を築くため、江別市が実施することは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

多くの高齢者が年間を通じて各種サークル活動に参加し準備をするなど積極的な取り組みをしており、生きがいづくりに対する貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由・  
根拠は？

高齢者の演芸大会での発表意欲やスポーツ大会、講演会行事などへの参加意欲が強く、こうした意欲に心える場を提供している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小 なし

理由・  
根拠は？

共催する高齢者クラブ連合会、社会福祉協議会と連携しさらに参加意欲を向上させる行事を企画していく余地はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由・  
根拠は？

市が負担する経費のうち市民会館の使用料は、高齢者クラブ連合会との折半とするなど経費の削減に努めている。